



# Pro Rider's EYE Vol. 15

中井 直道

## 二輪レーサー&スクールインストラクターの安全通信

### 雨の日の サーキット走行会

快適な気候となり、バイクを楽しむライダーが街中でも多く見られるようになりました。

これからの季節、さまざまなバイクイベントが各地で開催されます。

その中で先日、ブリヂストンが開催するサーキット走行会が鈴鹿サーキットで行われました。私は、参加者の車両点検を始め、先導走行を行うなど、安全に走行会を楽しんでいただくための運営に関わっていました。

毎年恒例の鈴鹿での走行会は、他のサーキットより人気が高く、いつも多くのライダーが参加します。あの冴も走る全長約900の国際レーシングコースを、自分のバイクで走ることが出来るのですから、一度は走ってみたいとライダーなら誰しもが思うことでしょう。

ところが、皆が心待ちにしていたその当日、天気は雨だったのです……。そんな中で、改めて感心させられたのが最近のタイヤの性能の良さです。今回のような走行会では、街中からサーキット



近年のタイヤは高いドライ性能とウェット性能を兼ね備えている。写真：ブリヂストン BT-003ST

ト走行まで使えるスポーツタイヤを多くの参加者が装着しています。

感心させられた性能の部分とは、雨のコンディションでのグリップの力の高さです。本来は相反するドライ性能とウェット性能が非常に高いレベルで両立しているのです。これはシリカ成分を多く含むコンパウンド（ゴム）性能や、タイヤの剛性（構造）や素材の開発が進んだ結果です。ですから、今回のように降りしきる雨の中でも、不安無く気持ちよく走ることが可能になっています。

さて、話は走行会に戻りますが、今回はこのようなコンディションだったので多くの参加者が走行を取りやめてしまいました。

走行会に参加する目的はそれぞれでし

うが、速く走りたい、上手くなりたいと思っていることには間違いありません。無理して走る必要はないのですが、少しもつたない気がしました。雨の日の走行から得られるものは多いからです。なぜなら、雨の走行では、晴天に比べて自分のライディングの欠点が露呈しますし、また今回、私が気づいたように新たなタイヤの性能を発見出来るかも知れません。

多くのライダーは雨の日の走行に苦手意識があると思いますが、せつかくの走行会、やめてしまうのではなく、雨であっても是非チャレンジして頂きたいと思っています。

悪コンディションで上手く走る事が出来れば、充実感、達成感は大いにはずす。バイクライディングに限らず、悪いコンディションの中にこそ、人を成長させるヒントがあるのですから。

※タイヤの原料の一種。ウェット性能を向上させる



【なかい なおみち】

'87年にロードレース国際A級へ昇格しプロロードレーサーとなる。その後、全日本選手権に参戦。鈴鹿8時間耐久ロードレースでは19回の決勝進出を果たす。現在は一般ライダーを対象のライディングスクールを運営するなど多方面でバイクの楽しさと安全なライディングを伝えている。